

先日、面白山に登山に行きましたら、紅葉が大変きれいでした。あらためて自宅から山々を見てみると、だいたい木々が赤く染まっていることに気づきました。視聴覚センターのイチヨウの葉も黄色く色づいて秋を感じさせてくれています。

視聴覚センターでは、主にパソコンを使っての先生方の教材制作・教材研修のお手伝いなどを行っています。例えば、英語のリスニングCDの録音編集、撮影動画の編集、掲示用資料のカラー拡大コピーなどです。「こんなことができますか?」というご相談もお待ちしております。

さて、まずは第2回目のICT活用の授業研究会からお知らせしたいと思います。

ICT活用授業研究会レポート②

今年度第2回目のICT活用授業研究会が10月24日に袖崎小学校で行われました。その授業の中でのICTの活用についてレポートしたいと思います。



教科：袖崎大好きプロジェクト（総合的な学習）
 教材名：タブレットを使ってデジタル紙芝居をつくらう
 授業者：芦野 大介 教諭 使用機器：iPad 大型TV
 授業は音楽室で行われました。中に入ると黒板には、紙芝居の場面とセリフが20枚ほど掲示されていました。また、大型テレビと木琴・ウインドチャイムなどの楽器が用意されています。授業が始まってすぐ、今日の活動について児童と確認しました。「デジタル紙芝居の場面に合った

音声と効果音を貼り付けて、作品を完成させよう」という目的で進められました。単元の大まかなながれは、子供たちで紙芝居のストーリーを考え、Procreateというアプリで場面の絵を描きます。そしてiMovieというアプリで、自作の絵データを読み込んでセリフや効果音を入力して、紙芝居を完成させるというものです。本時では前回作ったデジタル紙芝居を振り返り、絵と効果音の長さを調整していきました。先生が調整するのではなく、1人の子供がみんなの意見を聞いて手際よく機器を使いこなして修正していました。日頃から子ども達がICT機器と触れ合っていることが一目でわかります。さあ、よいよ新しい場面のセリフと効果音の録音です。もちろんタブレットの操作は子ども達。ローテーションして誰でも扱うことができます。先生は温かく見守るくらい。すごい！セリフの声も大きな声でハキハキとしていて、自信を持って取り組んでいました。楽器を使った効果音も、もっと大きい方がいい、音の長さはもうちょっと短くなんていうやりとりが自然とおきています。ま



た、タブレットをピアノの所に持ち運んで録音するなど、本当に録音活動がスムーズに行われました。（タブレットの機動力を生かしています！）

授業全体を通して、タブレットを使ったセリフや効果音の録音は、ほぼ子ども達で行っていました。芦野先生の研究のテーマが「主体的、創造的な活動ができるICT活用」ということで、適切なアプリを活用して自作のストーリーの絵を描くことが、創造的でクリエイティブな活動を支えていたと思いました。また、作成したデジタル紙芝居を幼児施設や老人施設などで上映するということが、主体的な活動に繋がっていたと思います。事後研で、なぜデジタル紙芝居なのか?という話題も出ましたが、デジタルにすることでDVDにコピーすることができ、いつでもどこでも楽しむことができ活用が広がるように思います。ねらいやニーズに合わせてアナログとデジタルの二刀流も大切なのだと勉強することができました。



委嘱研究公開授業研究会③および

ICTを活用した授業づくり講座③のお知らせ

期 日：11月28日（火）

場 所：尾花沢市立尾花沢小学校

授業者：青柳 豊 教諭

内 容：公開授業 → 事後研究会 → ICTを活用した授業づくり講座③

詳細は後日ご案内します

（電子黒板を活用した授業づくり講座）

一緒に楽しく研修しましょう!!

*** 今月の機材教材紹介 ***

音声認識ソフト AmiVoiceSP2(アミボイス)

「文集作成のとき、長い文章をパソコンで打つのが大変」という先生に朗報です。自分の声が文字になるパソコンソフトがあります。先生は原稿を持ちながら文章を読み上げるだけです。リアルタイムで文字に変換されていきます。多少の漢字変換ミスはありますが、予想以上に正確に文章作成ができます。ぜひご利用ください。

11月の移動学習予定

お待ちしております

1日 河北幼稚園①	15日 袖崎小3・4年	22日 神町小4年2組
6日 長瀬小3年	16日 大石田北小3年	袖崎小5・6年
10日 河北幼稚園②	17日 大石田北小4年	27日 楯岡小6年1組
13日 戸沢小2年	20日 戸沢小1年	28日 楯岡小6年2組
14日 長瀬小5年	宮沢小4年	29日 楯岡小6年3組
常盤小4年	21日 神町小4年1組	30日 楯岡小6年4組
		戸沢小5年